

平成 28 年度

# 試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

<一般選抜試験>

<推薦入学試験>



沖縄県立芸術大学

# 目次

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	1
募集人員	1
<b>I 一般選抜試験</b>	
1 試験科目一覧	3
2 出願方法	3
3 併願について	4
4 試験内容及び試験曲等	
<<専攻試験>>	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	5
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	6
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	7
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	9
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	13
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	13
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	13
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	14
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	14
(10) 社会人特別選抜(琉球芸能専攻)	14
<<音楽に関する基礎能力検査>>	
(1) 楽典(音楽表現専攻・音楽文化専攻・琉球芸能専攻)	15
(2) 聴音(音楽表現専攻・音楽学コース)	15
(3) 副科ピアノ(音楽表現専攻<ピアノコースを除く>・音楽学コース)	15
(4) 音楽又は舞踊の実技(音楽文化コース)	15
5 平成28年度個別学力検査等日程表	16
<b>II 推薦入学試験</b>	
1 試験科目一覧	17
2 出願方法	17
3 試験内容及び試験曲等	
<<専攻試験>>	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	18
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	18
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	18
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	19
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	19
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	19
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	19
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	19
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	19
<<音楽に関する基礎能力検査>>	
(1) 楽典(音楽表現専攻<作曲理論コースを除く>・沖縄文化コース・琉球芸能専攻)	20
(2) 聴音(音楽表現専攻<作曲理論コースを除く>)	20
(3) 新曲視唱(作曲理論コース・音楽学コース)	20
(4) 副科ピアノ(音楽表現専攻<ピアノコースを除く>・音楽学コース)	20
4 平成28年度推薦入学試験日程表	20
<b>III 前年度入学試験問題</b>	21

## 音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で生まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

### ■アドミッション・ポリシー

- 音楽家として活躍していきたいという意欲に満ちた人。
- 音楽の基礎的な実技力を備え、さらに専門的に高度な技術や学問の修練を重ねたいと考えている人。
- 音楽に対する視野を広げ、現代社会において音楽を学ぶ意義を考えていこうとする人。
- 古典を学び、さらに新しい時代にふさわしい芸術文化を創造して、社会に発信していこうという積極性をもつ人。

### ■カリキュラム・ポリシー

- 主に個人指導による主専攻実技等やそれらを支える関連科目群を4年間にわたって段階的に履修します。専門分野における技術向上とともに、知性あふれるバランスのよい人材育成を行います。
- 基礎的で幅広い音楽的教養を高める科目を配置し、多様化する現代社会に広い視野で臨んでいく能力を育み、個性を伸ばす教育を行います。
- 沖縄県のもつ歴史をふまえ、恒久の地球平和を謳う拠点となるよう、社会との連帯を深めます。積極的に社会とのかかわりを学び、芸術活動を通して自らの能力を発揮できる人間教育を行います。

### ■ディプロマ・ポリシー

- 大学ディプロマ・ポリシーを基本に、段階的かつ体系的な学修により涵養されたそれぞれの専門分野における知識や技術、表現力、また他者との協働を通して社会に対して汎用化できる能力等を総合的に評価し、学士（芸術）の学位を授与します。

## 募集人員

学 部	学 科	専 攻	コ ー ス	定 員	募 集 人 員				社 会 人 特 別 選 抜
					一 般 選 抜		推 薦 入 学		
					前 期 日 程	後 期 日 程	県 内 枠	全 国 枠	
音 楽 学 部	音 楽 学 科	音 楽 表 現	声 楽	23	17	0	3	3	0
			ピ ア ノ						
			弦 楽						
			管 打 楽						
			作 曲 理 論						
	音 楽 文 化	沖 縄 文 化	7	4	0	2	1	0	
		音 楽 学							
	琉 球 芸 能	琉 球 古 典 音 楽	10	5	0	4	1	若 干 名	
琉 球 舞 踊 組 踊									
計				40	26	0	9	5	若 干 名

注1. 推薦入学の手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加える。

注2. 推薦入学の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は他方の枠に算入することがある。

注3. 社会人特別選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。



# <一般選抜試験>

# I 一般選抜試験

## 1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専攻試験 (第1次試験)					音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)			
		実技 検査	コールユー ブンゲン	初見	小論文	口述 試験	楽典 (注3)	聴音	副科 ピアノ	音楽又は 舞踊の実技
音楽 表現 専攻	声楽 コース	◎	◎				◎	◎	◎	
	ピアノ コース	◎		◎ (視奏)			◎	◎		
	弦楽 コース	◎					◎	◎	◎	
	管打楽 コース	◎					◎	◎	◎	
	作曲理論 コース	◎				◎	◎	◎	◎	
音楽 文化 専攻	沖縄文化 コース				◎	◎	◎			◎
	音楽学 コース				◎	◎	◎	◎	◎	
琉球 芸能 専攻	琉球古典 音楽コース (調弦含む)	◎			※	※	◎			
	琉球舞踊 組踊コース	◎		◎ (演技・視唱)	※	※	◎			

注1. ◎印は、受験者が必ず受けなければならない科目を示す。※印は社会人特別選抜のみ（但し楽典は受験しない）

注2. 各専攻の個別学力検査等（実技検査を含む）については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

注3. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、他専攻の楽典とは別問題とする。

## 2 出願方法

(1) 声楽コース志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。

ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(2) 弦楽および管打楽コース志願者は、次の楽器の中から1種類を選択し、出願すること。

(弦楽器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット

テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器

(3) 琉球古典音楽コース志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。

歌三線、琉球箏曲

### 3 併願について

音楽学部への出願は、志願する専攻・コース（声種・楽器）を1つに限るが、以下の表に示す限りにおいては併願が可能である。

また、音楽表現専攻弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする志願者は、ヴィオラを第2志望として出願することができる。

#### 【併願可能な専攻・コース】

第2志望		音楽表現専攻					音楽文化専攻		琉球芸能専攻	
		声楽 コース	ピアノ コース	弦楽 コース	管打楽 コース	作曲理論 コース	沖縄文化 コース	音楽学 コース	琉球古典 音楽コース	琉球舞踊 組踊コース
音楽 表現 専攻	声楽 コース						○	○		
	ピアノ コース	○					○	○		
	弦楽 コース						○	○		
	管打楽 コース						○	○		
	作曲理論 コース	○					○	○		
音楽 文化 専攻	沖縄文化 コース							○	○	○
	音楽学 コース	○					○			
琉球 芸能 専攻	琉球古典 音楽コース						○			○
	琉球舞踊 組踊コース						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。ただし、音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、第2次試験では音楽学コースの科目を受験すること。

なお、センター試験受験科目については、第1志望で受験した科目を第2志望のセンター試験科目として利用することができる。

## 4 試験内容および試験曲等

### 《専攻試験》

#### (1) 音楽表現専攻声乐コース

注意事項：課題曲、自由曲とも暗譜で歌うこと。歌詞は原語で歌うこと（ただし、曲によっては通例歌われている他の外国語で歌うことも可）。

伴奏者は本学で用意する。ただし、事前の伴奏合わせはない。

時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

<課題曲>

下記の課題曲 15 曲から任意の 3 曲を選択し、入学願書に記入すること。

提出した 3 曲の中から試験当日、受験者本人のくじ引きにより 1 曲を歌う。

<自由曲>

課題曲以外の任意の曲、ただし 5 分以内とする。歌詞は原語で歌うこと。

<コールユーブンゲン>

F.Wüllner : Chorübungen No.30 より、No.71 までの中から、当日 1 曲を指定する。

移動ド、固定ド、のどちらで歌ってもよい。

### 課 題 曲

①	M.A.Cesti	Intorno all'idol mio	( c-moll, d-moll, e-moll, f-moll )
②	G.B.Pergolesi	Se tu m'ami	( es-moll, f-moll, g-moll )
③	A.Scarlatti	Se tu della mia morte	( e-moll, g-moll, f-moll )
④	A.Scarlatti	Già il sole dal Gange	( G-dur, As-dur, B-dur )
⑤	A.Scarlatti	Le violette	( F-dur, G-dur, B-dur, H-dur )
⑥	A.Scarlatti	Sento nel core	( d-moll, es-moll, f-moll, g-moll )
⑦	F.Gasparini	Lasciar d'amarti	( d-moll, f-moll, g-moll )
⑧	F.Durante	Vergin, tutto amor	( h-moll, c-moll, d-moll )
⑨	W.A.Mozart	Das Veilchen	( E-dur, G-dur )
⑨	F.Schubert	An die Musik	( B-dur, C-dur, D-dur )
⑩	F.Schubert	Frühlingsglaube	( F-dur, G-dur, As-dur )
⑪	R.Schumann	Die Lotosblume	( Des-dur, Es-dur, F-dur )
⑫	弘田龍太郎	浜千鳥	( C-dur, Es-dur )
⑬	瀧廉太郎	荒城の月	( c-moll, d-moll )
⑭	山田耕筰	かやの木山	( C-dur, D-dur )
⑮	平井康三郎	ゆりかご	( E-dur )
⑯	信時潔	北秋の	( Es-dur, D-dur )

\* ( ) 内の調は、本学が用意する伴奏用楽譜の調である。他の調で歌う場合は、希望の調の伴奏用楽譜を願書とともに提出すること。

\*イタリア歌曲は外国版を使用する時は、伴奏用楽譜を提出すること。



## (2) 音楽表現専攻ピアノコース

下記の課題曲 A,B,C についてそれぞれ任意の曲を 1 曲選択し、入学願書に記入して届け出ること。

**注意事項：A(Präludium, Fuga),B,C の順に演奏し、すべて暗譜で演奏すること。  
記号による反復は行わない。時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。**

### <課題曲 A>

次の中から任意の 1 曲を選択。

J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier I (Nr.8,12,20,24 を除く)

J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier II (Nr.8,14,21,22 を除く)

### <課題曲 B>

次の中から任意の 1 曲を選択。

F.Chopin : 12 Etudes Op.10 (No.3,6,11 を除く)

F.Chopin : 12 Etudes Op.25 (No.1,2,7 を除く)

F.Liszt : Grandes études de Paganini S.141 より No.4 (E-dur), No.5 (E-dur)

F.Liszt : Trois études de Concert S.144 より No.2 (f-moll)

F.Liszt : 2 Konzert Etüden S.145 より Nr.2 (fis-moll)

### <課題曲 C>

次の中から任意の第 1 楽章を選択。

L.v.Beethoven : Klaviersonate Op.2 Nr.1~Op.90

(Op.27 Nr.1, Op.27 Nr.2, Op.49 Nr.1, Op.49 Nr.2, Op.79 の 5 曲を除く)

### <初見視奏>

簡易な曲の視奏。

試験室入室前に 4 分程度の予見時間がある。

### (3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。  
試験曲のうち、指定した版のある曲以外は、どの版を使用しても良い。  
時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

#### ◆ヴァイオリン

##### <音階>

Carl Flesch : Scale system より任意の調一つを選択。

5番（3オクターヴの音階 Tempo はJ=80~100）全部。

6番（3度の音階 Tempo は自由）冒頭4小節。

7番（6度の音階 Tempo は自由）冒頭4小節。

8番（8度の音階 Tempo は自由）冒頭4小節。

\*フィンガリングは自由。

\*スラー、リズムはC-durに準じること。ただし重音のスラーは一拍ずつのスラーで演奏すること。

##### <課題曲A>

以下の練習曲、または、これらと同等程度以上の練習曲から任意の1曲を選択。

・ R.Kreutzer : 42 Etudes (Peters 版)

\*No.1,3,5を除く。リズムやスラーはオリジナルに準じること。

・ P.Rode : 24 Caprices

・ J.Dont : 24 Etudes and Caprices Op.35

##### <課題曲B>

任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章（カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したもののについては演奏すること）。

注. ヴァイオリンを第1志望とする志願者はヴィオラを第2志望とすることができる。

その場合、第2志望の実技試験も受験しなければならない。ヴィオラ試験として第1志望と同じ「音階」、「課題曲A」、「課題曲B」をヴァイオリンで演奏すること。

## ◆ヴィオラ

<音階>

C-dur の音階。Tempo は♩=80 以上

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。



<課題曲 A>

R.Kreutzer : 42 Etudes より任意の 1 曲 (但しヴィオラ用の編曲) を選択。

<課題曲 B>

任意のヴィオラ協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァを除く)

## ◆チェロ

<課題曲 A>

Sebastian Lee : Melodische und progressive Etüden Op.31 (版は問わない)  
より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァを除く)

## ◆コントラバス

<課題曲 A>

F.Simandl : 30 Etudes より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のコントラバス協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァを除く)

## (4) 音楽表現専攻管打楽コース

注意事項：無伴奏で演奏すること。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

## 【木管楽器】

## ◆フルート

## &lt;音階&gt;

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

## 譜例



## &lt;課題曲&gt;

次の3曲を演奏する。演奏箇所は当日指定する。

J.Andersen：フルートの為の24の練習曲 Op.30（版は問わない）

Nr.3 Allegro

Drouet：フルートの為の25の練習曲（版は問わない）

Nr.8 Adagio

Nr.10 Allegro moderato

## ◆オーボエ

## &lt;音階&gt;

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

## 譜例



## &lt;課題曲&gt;

次の6曲から当日1曲を指定する。

H.Ferling：48の練習曲 Op.31（Gérard Billaudot 版、Pierre Pierlot 監修）

No.1～No.6

## ◆クラリネット

### <音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

### 譜例



### <課題曲>

C.Rose : 32 の練習曲 (Leduc 版) No.5~No.20 より

奇数番号 1 曲と偶数番号 1 曲を当日指定する。

C.M.v.Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur Op.26 J.109

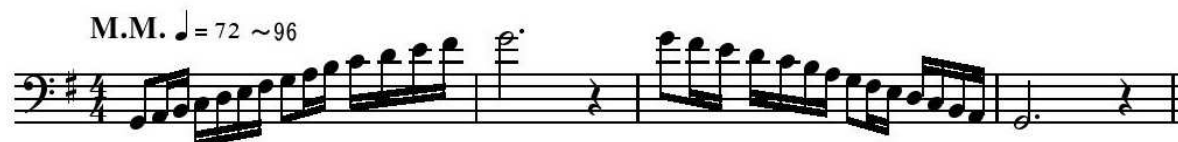
(Breitkopf & Härtel 版)

## ◆ファゴット

### <音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

### 譜例



### <課題曲>

Julius Weissenborn : Method for Basson Op.8, 2 巻

No.2, 4, 6, 8, 10, 13 から 3 曲を当日指定する (版は問わない)。

## 【金管楽器】

(共通課題)

### <音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

### 譜例



## ◆ホルン

&lt;音階&gt;

金管楽器共通課題参照のこと

&lt;課題曲&gt;

C.Kopprasch : Sixty selected studies for French Horn Book 1 (Carl Fischer 版)

No.3,13,15 の中より 1 曲を当日指定する。

W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur K.V.447 より第 1 楽章

(Breitkopf &amp; Härtel 版) ※カデンツァを除く

## ◆トランペット

&lt;音階&gt;

金管楽器共通課題参照のこと

&lt;課題曲&gt;

J.B.Arban : 「トランペット・メソード」第 2 巻 (全音楽譜出版社)

No.3 Fantaisie Brillante より Theme と Variation 1, Variation 2

## ◆テナートロンボーン

&lt;音階&gt;

金管楽器共通課題参照のこと

&lt;課題曲&gt;

C.Kopprasch : Sixty selected studies for Trombone Book 1 (版は問わない)

No.7

J.Rochut : Melodious etudes for Trombone Book1 (Carl Fischer 版)

No.4

## ◆バストロンボーン

&lt;音階&gt;

金管楽器共通課題参照のこと

&lt;課題曲&gt;

C.Kopprasch : Sixty selected studies for Trombone Book 1 (版は問わない)

No.7 を 1 オクターヴ下げて演奏する。

J.Rochut : Melodious etudes for Trombone Book 1 (Carl Fischer 版)

No.4 を 1 オクターヴ下げて演奏する。

## ◆チューバ

&lt;音階&gt;

金管楽器共通課題参照のこと

&lt;課題曲&gt;

J.S.Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)

使用楽器は、B<sup>b</sup>管、C 管のいずれかとする。

## ◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入して届けること。

打楽器 (B) で受験する者は課題曲①の曲名を入学願書に記入すること。

(使用するマリンバはアダムス社製C-G5 $\frac{1}{2}$ オクターヴ)

打楽器 (A)

<音階>

注意：マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、七つ打ち、九つ打ち、十三打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。

<課題曲>① ② 両方演奏する。

① Robert W.Buggert : Intermediate Method Drums (Rubank 版)

より Rolling Accents

② M.Goldenberg : Modern School for Xylophone,Marimba,Vibraphone (Chappell&Co 版)

39Etudes より No.1

打楽器 (B)

<音階>

注意：マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

五つ打ち、七つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。

<課題曲>① ② 両方とも演奏する。

① マリンバで5分程度の任意の無伴奏曲を1曲。

② Collection Drum Solos (Ludwig 版) の曲集4頁にある4曲の中から当日指定する。

## (5) 音楽表現専攻作曲理論コース

### <作曲実技>

和声課題の実施（所要時間 2 時間）。ソプラノ課題およびバス課題を四声体で実施する。

### <口述試験>

実技試験で実施した和声課題に関する質疑を含め、音楽への熱意などを問う。

これまでの作曲作品の楽譜、演奏された録音媒体などを持参し、試験場で自由に自演など行うこと。

## (6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

### <小論文>

次の課題図書に基づいて音楽に関わるテーマを出題し、論述を求める。(90 分)

青柳いづみこ『ボクたちクラシックつながりーピアニストが読む音楽マンガ』（文藝春秋）

※課題図書は当日必ず持参すること。

### <口述試験>

第 1 日目に行った小論文の内容及び課題図書に関する質疑を中心に、音楽（舞踊）に関する経験等を問う。

※課題図書は当日必ず持参すること。

## (7) 音楽文化専攻音楽学コース

### <小論文>

次の課題図書に基づいて音楽に関わるテーマを出題し、論述を求める。(90 分)

青柳いづみこ『ボクたちクラシックつながりーピアニストが読む音楽マンガ』（文藝春秋）

※課題図書は当日必ず持参すること。

### <口述試験>

第 1 日目に行った小論文の内容及び課題図書に関する質疑を中心に、音楽（舞踊）に関する経験等を問う。

※課題図書は当日必ず持参すること。



## (8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

注意事項：課題曲、自由曲ともに暗譜で演奏すること。

### ◆歌三線

#### <調弦>

調子笛の音高に合わせて調弦すること。

#### <課題曲>

かぎやで風節、上り口説（1、2、3、8番）、秋の踊【道輪口説】（1、2、3、4番）

※上記3曲の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

#### <自由曲>

二揚調子の古典曲または二揚調子の古典民謡から任意の曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

### ◆琉球箏曲

#### <調弦>

あらかじめ調弦された巾、為、斗、十、九の音高をもとに本調子の調弦をすること。

#### <課題曲>

瀧落菅攪

#### <自由曲>

歌物の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

## (9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

#### <課題曲>

かぎやで風、かせかけ

※上記2曲の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

#### <自由曲>

琉球舞踊又は八重山古典舞踊の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

なお、地謡用音源は<課題曲><自由曲>ともにカセットテープ・CD・MDいずれかの録音媒体を出願書類と一緒に提出すること。再生用機器等は大学側が準備する。

#### <初見演技・初見視唱>

舞踊：試験当日に例示する古典女踊の基本的所作を模倣して実演する。

組踊：試験当日に例示する台詞の唱え（執心鐘入の中から抜粋）。

## (10) 社会人特別選抜（琉球芸能専攻）

#### <実技検査>

試験曲は一般選抜と同様とする。

#### <小論文>

課題は試験当日に出題する。

#### <口述試験>

小論文についての口頭試問を行う。

## 《音楽に関する基礎能力検査》

### (1) 楽典

- ◆音楽表現専攻、音楽学コース：筆記試験（60分）
- ◆沖縄文化コース、琉球芸能専攻：筆記試験（40分）

### (2) 聴音

- ◆音楽表現専攻、音楽学コース：一声（単旋律）および四声（和声）の聴音。

### (3) 副科ピアノ

- ◆音楽表現専攻＜ピアノコースは除く＞、音楽学コース  
下記の課題曲より曲を選択し、入学願書に記入して届けること。

**注意事項：**暗譜で演奏すること。記号による反復は行わない。時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

音階および課題曲を演奏すること。

#### 〈音階〉

ハノン教則本第 39 番より井上記号 3 つまでの長調または短調の音階から試験当日受験者本人のくじ引きにより演奏する。Tempo ♩=80 以上  
長調は繰り返しなしで、カデンツをつけて終わる。  
短調は和声的短音階を 1 回弾いた後、カデンツをつけずに続けて旋律的短音階を 1 回弾き、カデンツをつけて終わる。

#### 〈課題曲〉

次のイ)～ハ)の中から 1 曲を選ぶこと。

- イ) J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の 1 曲
- ロ) ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の 1 つの楽章。  
(ベートーヴェンを選択する場合は Op.101～111 は除く)。ただし緩徐楽章は除く。
- ハ) ツェルニー：30、40、50 番練習曲より任意の 1 曲

### (4) 音楽又は舞踊の実技

- ◆沖縄文化コース  
音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。  
演奏時間は 3 分～5 分程度とし、全体の持ち時間は準備も含めて 6 分以内とする。

#### 注意事項

- ・演奏は伴奏なしとする。
- ・本学でピアノ、打楽器、マリンバは用意するが、それ以外の楽器は持参すること。ただし、コントラバス、箏は本学で準備したものを使用してもよい。
- ・舞踊に用いる録音媒体（CD等）は事前に再生について確認をした上で出願時に提出すること。

### 5 平成 28 年度一般選抜試験個別学力検査等日程表

専攻・ コース 日程	音楽表現					音楽文化		琉球芸能		
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典 音楽	琉球舞踊 組踊	
平成 28 年 2 月 25 日 (木)	課題曲 自由曲 コルコブソグン				音階 課題曲	作曲実技	小論文	小論文		課題曲 自由曲 初見演技・ 初見視唱
2 月 26 日 (金)		課題曲 A 課題曲 B 課題曲 C 初見視奏				口述試験	口述試験	口述試験		調弦 課題曲 自由曲
	一 次 発 表									
2 月 27 日 (土)	楽 典 聴 音						楽典	楽典 聴音		楽典
	副科ピアノ		副科ピアノ			音楽又は 舞踊の実技	副科ピアノ			※小論文 ※口述試験

注 1 : この日程は予定であり、出願状況によって変わることがある。

注 2 : ※印は社会人特別選抜のみ（但し、楽典は受験しない）

# <推薦入学試験>

## II 推薦入学試験

### 1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専攻試験					音楽に関する基礎能力検査				
		実技 検査	コールユー ブンゲン	初見	小論文 又は作品	面接又は 口述試験	楽典 (注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	音楽又は 舞踊の実技
音楽 表現 専攻	声楽 コース	◎	◎			◎	◎	◎		◎	
	ピアノ コース	◎				◎	◎	◎			
	弦楽 コース	◎				◎	◎	◎		◎	
	管打楽 コース	◎				◎	◎	◎		◎	
	作曲理論 コース				◎	◎			◎	◎	
音楽 文化 専攻	沖縄文化 コース				◎	◎	◎				◎
	音楽学 コース				◎	◎			◎	◎	
琉球 芸能 専攻	琉球古典 音楽コース (調弦含む)	◎					◎				
	琉球舞踊 組踊コース	◎		◎ (演技・視唱)			◎				

注1. ◎印は、受験者が必ず受けなければならない科目を示す。

注2. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、他専攻の楽典とは別問題とする。

### 2 出願方法

(1) 声楽コース志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。

ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(2) 弦楽および管打楽コース志願者は、次の楽器の中から1種類を選択し、出願すること。

(弦楽器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット

テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器

(3) 琉球古典音楽コース志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。

歌三線、琉球箏曲

### 3 試験内容および試験曲等

#### 《専攻試験》

##### (1) 音楽表現専攻声楽コース

一般選抜試験に同じ

##### (2) 音楽表現専攻ピアノコース

注意事項：課題曲 A.B.C の順にすべて暗譜で演奏すること。記号による反復は行わない。  
時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

下記の課題曲 A.B.C よりそれぞれ任意の曲を一曲選択すること。

- A) J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集第Ⅰ巻または第Ⅱ巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。
- B) ショパンまたはリスト：練習曲より任意の1曲。
- C) ベートーヴェン：ピアノソナタより任意の第1楽章。

##### (3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。  
時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

#### ◆ヴァイオリン

<音階>

一般選抜試験に同じ

<課題曲>

任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章（カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したものについては演奏すること。）

#### ◆ヴィオラ

<音階>

一般選抜試験に同じ

<課題曲>

任意のヴィオラ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

#### ◆チェロ

<課題曲A>

一般選抜試験に同じ

<課題曲B>

任意のチェロ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

#### ◆コントラバス

<課 題 曲>

一般選抜試験に同じ

<課

1 楽章（カデンツァを除く）

#### (4) 音楽表現専攻管打楽コース

一般選抜試験に同じ

#### (5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<作曲作品>

受験者自身の作曲作品の楽譜または演奏された録音媒体など。

※作品等は試験当日に持参すること。

<口述試験>

提出された作品をもとに質疑を行い、また音楽への情熱などを問う。

#### (6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

テーマ「人間と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、出願書類と一緒に提出すること。

<口述試験>

小論文の内容及び音楽（舞踊）に関する経験等を問う。

#### (7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

テーマ「人間と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、出願書類と一緒に提出すること。

<口述試験>

小論文の内容及び音楽（舞踊）に関する経験等を問う。

#### (8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

一般選抜試験に同じ

#### (9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

一般選抜試験に同じ

## 《音楽に関する基礎能力検査》

### (1) 楽典

- ◆音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）：筆記試験（40分）
- ◆沖縄文化コース、琉球芸能専攻：筆記試験（40分）

### (2) 聴音

- ◆音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）：8小節程度の一声（単旋律）および四声（和声）の聴音。

### (3) 新曲視唱

- ◆作曲理論コース、音楽学コース：8小節程度の旋律の視唱。予見時間は1分30秒、主和音及び開始音を与える。

### (4) 副科ピアノ

- ◆音楽表現専攻（ピアノコースを除く）、音楽学コース  
イ）～ハ）の中から1曲を選び演奏する。

イ）J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の1曲

ロ）ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の1つの楽章  
（ベートーヴェンを選択する場合はOp.101～111は除く）ただし緩徐楽章は除く。

ハ）ツェルニー：30、40、50番練習曲より任意の1曲

注意事項：暗譜で演奏すること。記号による反復は行わない。時間の都合により演奏の中断を求めることがある。

### (5) 音楽又は舞踊の実技

- ◆沖縄文化コース  
一般選抜試験に同じ

## 4 平成28年度推薦入学試験日程表

専攻・ コース 日程	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典 音楽	琉球舞踊 組踊
平成27年 11月22日 (日)	課題曲 自由曲 コルユープンゲン	課題曲A 課題曲B 課題曲C	音階 課題曲	音階 課題曲	口述試験	口述試験	口述試験	調弦 課題曲 自由曲	課題曲 自由曲 初見演技・ 初見視唱
	楽典 聴音				新曲視唱	楽典	新曲視唱	楽典	
	副科ピアノ	副科ピアノ				音楽又は 舞踊の実技	副科ピアノ		
	面接								

注：この日程は予定であり、出願状況によって変わることがある。



# <前年度入学試験問題>

### Ⅲ 前年度入学試験問題

#### 《試験科目 目次》

#### \* 一般入試

楽典（声楽・器楽・音楽学専攻）	．．．．．	22
楽典（琉球芸能専攻）	．．．．．	23
聴音（声楽・器楽・音楽学専攻）	．．．．．	24
ピアノ初見視奏（器楽専攻ピアノコース）	．．．．．	25
作曲実技（音楽学専攻作曲コース）	．．．．．	26
小論文（音楽学専攻音楽学コース）	．．．．．	27

#### 【参考】

平成 27 年度入学試験において、初見視唱（琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）及び小論文（琉球芸能専攻社会人特別選抜）は実施されなかったため、参考として平成 26 年度入学試験問題を掲載します。

初見視唱（琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）	．．．．．	28
小論文（琉球芸能専攻琉球社会人特別選抜）	．．．．．	29

※ 沖縄文化コースは平成 28 年度から新設されるコースのため、入学試験問題の公表はありません。

#### \* 推薦入試

楽典（声楽・器楽専攻）	．．．．．	30
楽典（琉球芸能専攻）	．．．．．	31
聴音（声楽・器楽専攻）	．．．．．	32
新曲視唱（音楽学専攻）	．．．．．	33

[楽典]

I. 次に示す音程について答えなさい。

1. ①から⑩の各音程を例にならって答えなさい。
2. ①から⑤の各音程の転回音程を答えなさい。

II. 次に示す調について答えなさい。(記載のアルファベットはドイツ音名である。)

- ① eを属音とする長調
- ② bを下属音とする短調
- ③ fを導音とする長調
- ④ hを第3音とする短調
- ⑤ dを第6音とする短調

1. ①～⑤の調をドイツ語で答えなさい。(短調は和声階のみを考えること。)
2. それらの調号を指定された音部譜表上に書きなさい。

III. 次に示す和音について答えなさい。

1. ①～⑤の和音の種類を例にならって書きなさい。
2. ①、④、⑤に指定された調における和声記号を書きなさい。(短調は和声階のみを考えること。)

IV. 次に示す楽語について答えなさい。

- ① crescendo
- ② ritardando
- ③ tempo giusto
- ④ calmando
- ⑤ morendo
- ⑥ amoroso
- ⑦ meno mosso
- ⑧ subito *p*
- ⑨ senza sordino

1. ①～⑨の意味を書きなさい。
2. ①～③の反対の意味の楽語を、④～⑨の同じ意味の楽語を下記の楽語を下記の中から選び書きなさい。

smorzando, pesante, diminuendo, espressivo, mesto, scherzando, stentando,  
leggero, stringendo, tempo primo, tranquillo, amabile, cantabile, tempo rubato

V. 次に示す旋律について答えなさい。

1. ①～⑥の調をドイツ語で答えなさい。
2. ④の旋律を4分の3拍子に改め、調号を用いずへ音譜表上に1オクターヴ低くして書きなさい。
3. ⑥の旋律を減5度低く移調し、調号を用いずへ音譜表上に書きなさい。

～～下書き用～～

楽典 (琉球芸能専攻)

I 次の楽譜は、中田章作曲《早春賦》から抜粋したものである。これをもとに、以下の問いに答えなさい。

- (1) この曲は、何調か。
- (2) この曲は、何分の何拍子か。
- (3) この曲を反復記号の通りに演奏すると、全部で何小節になるか。
- (4) あ、い、う、え の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。
- (5) か、き の記号の読みと意味を答えなさい。
- (6) この曲の さ、し、す の部分にふさわしい和音はどれか。次のコードネームの中から選んで答えなさい。  
D B♭ Em F#m G A7

(7) この曲を楽譜の最初に示された速度の通りに演奏すると、全曲演奏するにはおおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、次の中から、最も近い時間を選びなさい。なお、演奏中の速度の変化は考慮に入れないものとする。

- 約 50 秒 約 99 秒 約 102 秒 約 185 秒 約 371 秒

(8) この曲の た の部分 (2 段目) を、短 3 度高い調に参調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

II 次の問いに答えなさい。

(1) 次の音階を全音符で、臨時記号を用いて、解答用紙の五線に書きなさい。

- ア 変ホ長調 イ ロ短調 (和声的短音階)

(2) 次のコードネームの中から、ト長調の主要三和音に当たる和音を選んで答えなさい。

- A Bm C D Em F G

III 次の 9 つの問いの中から、5 つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の ( ) に書くこと。

(1) ニ短調の平行調は何調か。

(2) *cresc.* を省略せずにアルファベットで書き、読みと意味を答えなさい。

(3) 次の中から、2 分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。

- ア 付点 4 分音符 + 8 分音符 イ 8 分音符 + 8 分音符  
ウ 4 分音符 + 付点 8 分音符 エ 16 分音符 + 4 分音符

(4) 次の速度を示す用語を速い方から順に並べ、記号で答えなさい。

- ア Largo イ Moderato ウ Allegro エ Andante オ Allegretto

(5) 次の中から、神羅音階 (琉球音階) と呼ばれる音階を選び、記号で答えなさい。

(6) 三線の二揚調子において、女絃を C (ハ音) すると、中絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 次の中から、琉球筆世の器楽曲の曲名を選び、記号で答えなさい。

- ア 浜千鳥 ノ 執心鐘入 ウ かぎやで風節 エ 六段音階 オ 作田節

(8) 琉球舞踊「前の浜」で用いられる曲名 (節名) をすべて答えなさい。

(9) 《かぎやで風節》の歌詞を書きなさい。解答欄に書ききれない場合は、余白に書くこと。

沖縄県立芸術大学音楽学部 平成 27 年度入学試験

【聴音】

1. 単旋律 c-moll 3/4 8 小節



2. 単旋律 D-dur 4/4 7 小節 アウフタクト 1 拍



3. 四声体 C-dur 2/2 7 小節



Allegretto leggiero (♩ = ca. 100)

Musical score for measures 1-4. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: mp.

Musical score for measures 5-8. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: mf.

Musical score for measures 9-12. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: f.

Musical score for measures 13-16. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: leggiero, mp.

Musical score for measures 17-20. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: dim., mf, p.

Musical score for measures 21-24. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: dolce.

Musical score for measures 25-27. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: poco più mosso, mf, cresc., sosten. molto.

Musical score for measures 28-31. Treble and bass clefs, key signature of two flats, 4/4 time. Dynamics: calando, pp.

沖縄県立芸術大学音楽学部平成 27 年度入学試験問題

音楽学専攻作曲コース

【作曲実技】

次のソプラノおよびバス課題を四声体で実施しなさい。(2 時間)

1. ソプラノ課題



2. バス課題



## 小論文 (音楽学専攻音楽学コース)

フリードリヒ・ブルクミュラーが書いたピアノ練習曲集のうち、《25の練習曲》と《18の練習曲》には「素直な心」や「貴婦人の乗馬」など、さまざまな標題が付いていますが、今日、《12の練習曲》には標題が付いていません。ところが、課題図書『ブルクミュラー25の不思議』によれば、《12の練習曲》の初版譜には標題が付けられていたそうです。

演奏者から見た場合、ブルクミュラーの作品に限らず一般的に、曲の標題はあった方が良いですか、ない方が良いですか。それぞれの立場から論じらうえて、自分の考えを一〇〇〇字程度でまとめなさい。



**初見視唱**（琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）

**組踊 「執心鐘入」**

**若松**

二十日夜の暗さ  
道迷てをたん  
御情の宿に  
しばし休ま

**小僧一**

やかれよも座主が  
かじめたる若衆  
留守ならば互に  
語る嬉しや

**宿の女**

まれの御行合さため  
あまく片時も  
起きれゝ里よ  
語らひぼしやの

**若松**

今日のはつ御行合に  
語る事ないさめ

平成二十六年年度沖縄県立芸術大学音楽学部入学試験（社会人特別選抜）  
小論文（琉球芸能専攻）

次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

問一

「人間は座りつづけることもできないし、立ちつづけることもできない」とは、練習（稽古）で説明するかどうか、二〇〇字以内で簡略に述べなさい。

問二

練習と身体との関係についてあなたの考えを六〇〇字以内で論じなさい。

### 身体は文化を内蔵する

われわれのからだは、そのすべての部分がいつも同じようにはたらくてはおりません。寝ているとき、座っているとき、しゃべっているとき、歩いているときでは、はたらくている神経も筋肉も同じではない。われわれは刻一刻たえず新しい身の統合をなしてあげています。このたえず変化する動的な統合の複雑さには、どのような人工的システムもかなわないでしょう。だがこの現実的な統合が身の統合のすべてではありません。

道を歩いている人のなかには、剣道の達人もあれば、ピアノの上手な人もあるでしょう。道を歩くという現実的な統合の範囲にとどまるかぎり、ふたりの身の統合の構造は似たようなものであり、からだとしては同じだ、といえるかもしれません。しかしそれがふたりの身の真の姿ではありません。ふたりの身は今実現していないが、実現しうる潜在的な統合可能性を構造化しています。ひとりの身のうちには、これまでの剣の立ち合い、さらにはこれまでの剣道の歴史、剣禅一致の思想までも肉化しているかもしれない。ピアノを弾く人は、ピアノの鍵盤を身体図式のうちに組みこみ、ピアノ曲の解釈の歴史、演奏法の伝統をも潜在的な身の統合のうちに包みこんでいます。身は解剖学的構造をもった生理的身体であると同時に、文化や歴史をそのうちに沈澱させ、身の構造として構造化した文化的・歴史的身体にほかなりません。つまり身体は文化を内蔵するのです。

そればかりではなく、素質のように未来に実現すべき可能的統合もあれば、病者にとつての健康のように回復すべき可能的統合もあります。病や障害は現実的統合としてみれば、それ自体は積極的な統合です。それが異常や欠如とみなされるのは、今は不在である可能的身体（いわゆる健康な身体）との関係において、異常であつたり、欠如であつたりするにすぎません。「健康」という概念は、時代や社会によつて異なります。色弱が問題にならない社会もあれば、聖なる呪術師や巫女が精神異常とされる社会もあるでしょう。身の可能的統合の拡がり、時代や社会によつて変化します。生き身は単なる生理的身体ではなく、そのような潜在的、あるいは可能的な統合を内蔵しています。

この内蔵化の過程というのは、連続的な過程にみえて、実はかなり不連続です。スポーツでも楽器の演奏でも、あるいはもつと抽象的な学習でもよい。試みるたびにうまくなり、理解が進むのは当然として、あるとき突然身の動きが自由になり、頭が晴れる思いをすることがあるのではないのでしょうか。あたかもそれまで無かった網目が突然身のうちに張りめぐらされたかのように。経験は身のうちに沈澱し、くりかえしは（能動的な訓練の場合にはもちろん、とくに意識することなくくりかえしている場合でも）、自分では気がつかない小さな発見と創造によつて、まだ不確定な網目を潜在的に身のうちに紡ぎ出しているのではないのでしょうか。

練習は、能動的に身のある方向に整理して、統合を容易にする回路を身のうちに形成する試みです。身体を動かさないイメージ練習や、イメージを積極的に浮かべて練習することが、動きを内蔵する早道であることがあります。これは意識的・能動的な統合です。ところが逆につきぎの段階では、イメージが邪魔になります。こんどは動きによつてイメージを消し、無心の状態に達することが必要になります。場合によつては、練習を休むことによつて、上手くなつたり、こつがつかめることさえあります。この場合にはたらくているのは、無意識的・受動的な統合ともいえるべきものです。休んでいる間も練習された動きは、徐々に身のうちに沈澱し、動きのネットワークが受動的に構成され、あるとき突然網目がつながるのでしよう。

ところが一たん網目ができあがると、くりかえしはただの反復に陥りがちです。もつとも抵抗のない道がえらばれ、習慣は惰性となるでしょう。しかし惰性的なくりかえしは、あるとき飽和状態になります。われわれは突然惰性的に飽きていることを発見します。

どんな立派な計画やユートピアにたいしても「否！」という少数者がいるというだけではなく、計画は現実化するにつれて惰性化し、それに飽きた多数者を生み出します。哲学者の故生松敏三氏の巧みな表現を借りれば、「人間は居ても立ってもいられない存在」なのです。人間は座りつづけることもできないし、立ちつづけることもできない。すぐに惰性化する存在でありながら、惰性的でありつづけることもできない。

人間は易きにつく存在ですから、禁欲の時代のつぎに享楽の時代が来るのはわかりやすい道理です。面白いのは、人間は享楽にも飽きるということです。享楽の時代のつぎに禁欲の時代が来るという不思議さ——同じ状態を永くつづけることができない人間のいたたまれなさは、動かしがたくみえる生き方を転換し、不可避とみえる袋小路を打開する力さえもつています。これが惰性的に創造的な習慣的身体の逆説です。

**楽典**

(声楽専攻・器楽専攻)

I. ①～⑩それぞれの音程を単音程で答えなさい。

例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

II. ①～③それぞれの和音の種類を答えなさい。

例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

III. ①～④に示された4音を音階を含む全ての調をドイツ語で答えなさい。

(短音階は和声短音階のみとすること。)

例 d, f, g, as

① cis, d, g, b ② d, e, fis, h ③ c, d, f, b ④ g, h, c, dis

IV. ①～④に指示された音階の上行形を、それぞれの解答欄内の譜表上に書きなさい。調号、全音符を用いること。

例 c を主音とする和声短音階

- ① dis を導音とする長音階
- ② c を属音とする旋律短音階
- ③ e を下属音とする長音階
- ④ d を第 6 音とする和声短音階

V. ①～⑤の略記された楽語の元のイタリア語を**あ**の欄に、その意味を**い**の欄に答えなさい。

- ① *accel.* ② *dim.* ③ D.C. ④ *ten.* ⑤ *rit.*

VI. ①～⑩の楽語の意味を答えなさい。

- ① *attacca* ② *sempre f* ③ *più mosso* ④ *tempo giusto* ⑤ *misterioso* ⑥ *appassionato*
- ⑦ *quasi cadenza* ⑧ *senza rallentando* ⑨ *alla marcia* ⑩ *sotto voce*

VII. 次の速度記号を遅いものから順に並べなさい。

- Adagietto *Vivace* Allegretto Andante Presto Largo Allegro Andantino Prestissimo Adagio

下書き用



平成27年度沖縄県立芸術大学推薦入学試験  
聴音問題

旋律 G-dur 4分の4拍子 8小節

Musical notation for a melody in G major (one sharp), 4/4 time, 8 measures. The melody is written on a single treble clef staff. It begins with a quarter note G4, followed by eighth notes A4, B4, and C5. The second measure contains quarter notes D5, E5, and F#5. The third measure has quarter notes G5, F#5, and E5. The fourth measure consists of a half note D5. The fifth measure has quarter notes C5, B4, and A4. The sixth measure contains quarter notes G4, F#4, and E4. The seventh measure has quarter notes D4, C4, and B3. The eighth measure is a whole note G3. A triplet of eighth notes (F#4, E4, D4) is marked with a '3' below it in the seventh measure.

旋律 d-moll 8分の6拍子 8小節

Musical notation for a melody in d minor (two flats), 6/8 time, 8 measures. The melody is written on a single treble clef staff. It begins with quarter notes D4, E4, and F4. The second measure has quarter notes G4, A4, and B4. The third measure contains quarter notes C5, B4, and A4. The fourth measure has quarter notes G4, F4, and E4. The fifth measure consists of a half note D4. The sixth measure has quarter notes C4, B3, and A3. The seventh measure contains quarter notes G3, F3, and E3. The eighth measure is a whole note D3. A triplet of eighth notes (C4, B3, A3) is marked with a '3' below it in the sixth measure.

四声体和声 g-moll 4分の2拍子 8小節

Musical notation for a four-voice harmony in g minor (two flats), 2/4 time, 8 measures. The harmony is written on a grand staff (treble and bass clefs). The melody is in the treble clef, and the bass line is in the bass clef. The notes are: Measure 1: G4, F4, E4, D4; Measure 2: F#4, E4, D4, C4; Measure 3: E4, D4, C4, B3; Measure 4: D4, C4, B3, A3; Measure 5: C4, B3, A3, G3; Measure 6: B3, A3, G3, F3; Measure 7: A3, G3, F3, E3; Measure 8: G3, F3, E3, D3.

視唱問題

予見時間：1分半

視唱前にピアノで主和音と開始音を弾きます。

Moderato

The musical score is written on two staves in 4/4 time, marked Moderato. The key signature has one flat (B-flat). The first staff starts with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. It contains a melodic line with a triplet of eighth notes. The second staff continues the melody with dynamics *f*, *sub.p*, and *poco*. The piece ends with a double bar line.

---

平成 28 年度

# 試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

---

平成 27 年 7 月 発行



**沖縄県立芸術大学**

〒903-8602

沖縄県那覇市首里当蔵町 1 丁目 4 番地

電話 098-882-5058 (教務学生課)

<http://www.okigei.ac.jp>